



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 CEO (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当執行役 CFO (氏名) 藤本 昌信

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,516	41.7	319		323		410	
2022年3月期第1四半期	4,599	32.6	930		911		234	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 381百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 226百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	17.93	
2022年3月期第1四半期	10.37	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	38,689	8,698	21.8	368.48
2022年3月期	40,173	9,081	22.0	385.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 8,428百万円 2022年3月期 8,819百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の配当予想につきましては未定であります。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,501	39.7	126		96		119	76.7	5.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	22,910,275 株	2022年3月期	22,910,275 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	36,144 株	2022年3月期	36,144 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	22,874,131 株	2022年3月期1Q	22,574,255 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているものの、ワクチン接種の普及や営業規制がなくなったことにより、人流が活発化し、徐々に景気の持ち直しの動きがみられております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で世界的な原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスク等もあり、先行きは依然不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、原材料価格の高騰や人件費の上昇を始めとする様々なコストの上昇、また、在宅勤務の増加や大人数での会食の自粛傾向といった消費者のライフスタイルの変化等により、引き続き厳しい経営環境が予想されております。

このような状況の中、当社グループは新しいグループビジョン「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」を掲げ、新しい付加価値を提供する持続可能な企業として取り組んでまいります。ウィズコロナ、アフターコロナを見据え引き続き事業構造の再構築を行うとともに、各事業において新たなマーケットの開拓を進めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高65億16百万円（前年同期比19億17百万円増）、営業損失3億19百万円（前年同期は営業損失9億30百万円）、経常損失3億23百万円（前年同期は経常損失9億11百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億10百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億34百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (レストラン事業)

レストラン事業においては、新規及びブラッシュアップした既存ブランドの出店の加速による店舗収益力の改善を推進するとともに、店舗の省人化・効率化等の業務改善に取り組んでおります。

その結果、新店は(株)壺番亭本部において「壺番亭」1店舗、(株)雪村において「めん商人」1店舗及び「雪村餃子無人直売所」5店舗であり、退店は3店舗であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、36都道府県に411店舗（フランチャイズ店舗103店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は46億95百万円（前年同期比44.2%増）、セグメント損失4百万円（前年同期は5億53百万円の損失）となりました。

#### (機内食事業)

(株)エイエエスケータリングにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限の見直しが始まったものの、未だ航空会社の著しい減便は続いており厳しい状況ではありますが、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は2億55百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント損失80百万円（前年同期は1億11百万円の損失）となりました。

#### (業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒウェルネスフーズにおいては、季節品のおせち及び冷凍弁当等の製造が増加したことから増収となりましたが、材料費及び人件費を始めとするコストの増加により減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は7億49百万円（前年同期比39.7%増）、セグメント損失1億18百万円（前年同期は80百万円の損失）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みであり、不動産賃貸事業の売上高は1億71百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益35百万円（前年同期は35百万円の利益）となりました。

#### (運輸事業)

水間鉄道(株)においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで沿線地域でのイベントの開催等に取り組むことで旅客数が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は99百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント損失9百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

#### (その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収増益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、販売数量が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は5億44百万円（前年同期比76.4%増）、セグメント損失4百万円（前年同期は35百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は147億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億46百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金8億9百万円及び未収入金7億20百万円の減少によるものであります。固定資産は239億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億36百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる保険積立金3億31百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、386億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億83百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は73億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等3億59百万円の減少によるものであります。固定負債は226億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億59百万円減少いたしました。これは主に長期借入金5億44百万円及び長期未払金3億円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、299億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億1百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は86億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失4億10百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.8%（前連結会計年度末は22.0%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,425,796	11,616,228
預け金	430,027	456,686
売掛金	985,085	1,148,848
商品及び製品	484,453	595,698
原材料及び貯蔵品	229,969	281,700
短期貸付金	2,502	2,351
未収入金	1,167,629	447,042
未収消費税等	17,179	37,738
その他	148,738	158,452
貸倒引当金	△992	△968
流動資産合計	15,890,390	14,743,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,232,836	28,236,451
減価償却累計額	△20,800,497	△20,927,633
建物及び構築物(純額)	7,432,339	7,308,818
機械装置及び運搬具	3,109,454	3,269,581
減価償却累計額	△2,271,261	△2,300,837
機械装置及び運搬具(純額)	838,192	968,744
工具、器具及び備品	1,919,322	1,909,446
減価償却累計額	△1,532,997	△1,535,218
工具、器具及び備品(純額)	386,324	374,228
土地	8,198,815	8,198,815
建設仮勘定	89,175	79,286
有形固定資産合計	16,944,847	16,929,892
無形固定資産		
のれん	328,177	311,817
その他	204,450	195,785
無形固定資産合計	532,628	507,603
投資その他の資産		
投資有価証券	1,481,195	1,431,770
長期貸付金	64,762	125,937
差入保証金	4,541,377	4,519,732
繰延税金資産	192,096	242,782
その他	544,252	206,522
貸倒引当金	△18,438	△18,438
投資その他の資産合計	6,805,247	6,508,307
固定資産合計	24,282,723	23,945,803
資産合計	40,173,113	38,689,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	748,645	801,934
短期借入金	500,000	800,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	3,537,444	3,426,624
未払金	421,776	297,103
未払費用	1,114,342	1,106,875
未払法人税等	373,148	13,708
未払消費税等	281,293	225,459
賞与引当金	172,765	92,260
資産除去債務	107,152	113,294
その他	304,388	441,807
流動負債合計	7,620,955	7,379,070
固定負債		
長期借入金	19,388,205	18,843,844
長期末払金	308,056	8,056
繰延税金負債	1,570,603	1,571,427
退職給付に係る負債	121,577	121,989
資産除去債務	1,272,446	1,257,856
その他	810,205	808,415
固定負債合計	23,471,095	22,611,590
負債合計	31,092,050	29,990,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,796,490	6,796,490
利益剰余金	△3,952,550	△4,362,652
自己株式	△35,381	△35,381
株主資本合計	8,646,795	8,236,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,785	185,690
為替換算調整勘定	△11,772	6,906
退職給付に係る調整累計額	△670	△582
その他の包括利益累計額合計	172,342	192,013
非支配株主持分	261,925	270,213
純資産合計	9,081,063	8,698,920
負債純資産合計	40,173,113	38,689,581

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,599,013	6,516,814
売上原価	3,009,547	4,070,514
売上総利益	1,589,465	2,446,299
販売費及び一般管理費	2,520,022	2,766,224
営業損失(△)	△930,557	△319,924
営業外収益		
受取利息	70	123
受取配当金	30,552	20,915
賃貸料収入	47,523	45,841
その他	18,404	25,955
営業外収益合計	96,549	92,835
営業外費用		
支払利息	33,272	43,837
借入手数料	1,100	1,000
賃貸費用	28,338	29,489
持分法による投資損失	13,470	14,145
その他	1,492	8,334
営業外費用合計	77,673	96,808
経常損失(△)	△911,680	△323,897
特別利益		
助成金収入	1,011,651	71,231
保険解約益	262	46,891
その他	—	1,095
特別利益合計	1,011,913	119,218
特別損失		
固定資産除却損	4,239	47,999
減損損失	2,791	1,793
新型コロナウイルス感染症による損失	230,398	188,151
その他	10,123	3,766
特別損失合計	247,552	241,711
税金等調整前四半期純損失(△)	△147,318	△446,389
法人税等	88,625	△35,742
四半期純損失(△)	△235,944	△410,647
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,899	△545
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△234,044	△410,101



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△235,944	△410,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,123	584
為替換算調整勘定	11	27,560
退職給付に係る調整額	275	87
持分法適用会社に対する持分相当額	921	488
その他の包括利益合計	9,331	28,721
四半期包括利益	△226,612	△381,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△224,715	△390,424
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,897	8,498

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	3,255,546	235,815	536,486	—	42,426	4,070,275	308,633	4,378,908	—	4,378,908
一定の期間にわた り移転される財	—	—	—	—	46,888	46,888	—	46,888	—	46,888
顧客との契約から 生じる収益	3,255,546	235,815	536,486	—	89,315	4,117,164	308,633	4,425,797	—	4,425,797
その他の収益	—	—	—	173,216	—	173,216	—	173,216	—	173,216
外部顧客に対する 売上高	3,255,546	235,815	536,486	173,216	89,315	4,290,380	308,633	4,599,013	—	4,599,013
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	597	5,286	—	6,910	12,794	113,265	126,060	△126,060	—
計	3,255,546	236,413	541,773	173,216	96,225	4,303,175	421,898	4,725,073	△126,060	4,599,013
セグメント利益又は 損失(△)	△553,869	△111,976	△80,311	35,304	△20,031	△730,885	△35,078	△765,964	△164,592	△930,557

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,592千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される 財	4,695,723	255,643	749,384	—	53,516	5,754,267	544,538	6,298,806	—	6,298,806
一定の期間にわた り移転される財	—	—	—	—	46,374	46,374	—	46,374	—	46,374
顧客との契約から 生じる収益	4,695,723	255,643	749,384	—	99,891	5,800,641	544,538	6,345,180	—	6,345,180
その他の収益	—	—	—	171,634	—	171,634	—	171,634	—	171,634
外部顧客に対する 売上高	4,695,723	255,643	749,384	171,634	99,891	5,972,276	544,538	6,516,814	—	6,516,814
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,928	2,911	—	7,309	12,148	119,439	131,588	△131,588	—
計	4,695,723	257,571	752,296	171,634	107,200	5,984,425	663,977	6,648,403	△131,588	6,516,814
セグメント利益又は 損失 (△)	△4,286	△80,787	△118,610	35,579	△9,919	△178,024	△4,860	△182,885	△137,039	△319,924

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△137,039千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。